

ACT News

エーシーティー・ニュース

こんにちは！ACTニュース編集部です。6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学生になっても新しいことにチャレンジしてくださいね。それでは令和7年度に実施された湯河原町3小学校でのACTを振り返っていきましょう！

ACT NEWS 第21号 2026年3月発行 発行元：湯河原町教育委員会・特定非営利活動法人 まなびとくらし

小学校でのACT

小学校のACTは中学校と同様に、わたし（自分自身）と、あなた（他者）と、みんな（グループ・クラス＝社会）と向き合うといった、コミュニケーションをテーマとする「芸術体験」を実施しています。小学校での3回は生きていくことの根幹となる「感覚・感性・表現」をめぐる学びの下地をつくりたいと考えています。

6年生「うれしいってどんな色？」

湯河原小学校	9月19日
東台福浦小学校	9月26日
吉浜小学校	10月1日



6年生の1回目は秋に。ここではうれしい時の気持ちを抽象画で表現します。自分の気持ちを表現する作品ですから「こう描きましょう」という方法はありませんし、抽象表現なので「上手/下手」という見方や評価もありません。一方で「正解のない自由さ」は、時に不自由さを感じることがあります。確かに描き方やその手順が決まっていれば、描きやすいこともあるかも知れません。でも、それだけだと決まった枠（与えられた自由）の中だけの表現になってしまう可能性も。だからこの時間はあえて「はみ出そう！」です。

みんなの感想は「みんなカラフルで個性的ですごいなと思った」「今回は自分の気持ちを絵に表現してスッキリした」「いろんな色を重ねるときれいな、おもしろい絵になるんだなあと思った」「うれしい気持ちを絵に描いていたらどどんうれしい気持ちになったから不思議だなあと感じた」「うまい/へたがないからいろんな色を混ぜ合わせたり線を描いたり、指でにじませたりしてとても楽しかった」「自分のうれしい気持ちが絵に描けてよかった」「気持ちの絵をやってみて正解/不正解がないからみんな違うし、やりやすかったから楽しかった」「自分が描いているものと友達が描いているものが違って個性だなあと思った」「自分のうれしさみたいなのは、風が吹くような感じなんだなと描き表してみようと思った」「最初は何も考えずに描いていたけど、描いていくうちにどどん自分の世界観が現れてきた」「いろんな色が混ざったりしたら新しい気持ちが増えたみたいだった」「友達にほめてもらえてうれしかった」「絵を自由に描けるのは楽しかった」などなど。

6年生「マシュマロ・チャレンジ」

吉浜小学校	2月19日
東台福浦小学校	2月26日
湯河原小学校	2月27日



6年生2回目はマシュマロ・チャレンジを実施しました。3～4人1組になり、パスタを材料に構造物をつくって、マシュマロをできるだけ高い位置に置き、その高さを競います。世界公式ルールに則って行いました。ちなみに世界記録は99センチだそうです。

まずはグループで10分間の作戦会議。どういう構造だと建ちやすい？ どうしたら強度は保てる？ 安定感を持たせるには？などを相談。その後、合図でスタート！制限時間は20分。楽しみながらトライ・アンド・

エラーの必要性を学びました。小学校の楽しい思い出の1つとして、友だちと協力して創意工夫と達成感、時に残念な気持ちを感じながら、たくさんの笑い声と共に過ごしました。

みんなの感想です。「何度も挑戦して失敗したけど楽しかった」「パスタが倒れて、途中であきらめそうになった時もあったけどすぐに切り替えてもう一度作戦を立てることができた」「協力と交流ができてよかった」「コミュニケーションがいっぱいとれてよかった」「人生も同じようにチャレンジして失敗することもあるけど、あきらめずにいろんなことに挑戦したい」などなど。

5年生「耳をすますとわかること」

東台福浦小学校	3月 5日
湯河原小学校	3月 6日
吉浜小学校	3月13日

5年生は3月上旬に「はじめまして」のご挨拶と共に小中連携の5年間、全12回のACTがスタートしました。導入部では1分の「沈黙をつくる、静寂を聞く」のワークを実施。「自分を世界の中心にあるマイクだと思って」と伝え、遠い音、小さい音に耳を傾けました。耳の感度も上がったところで、グループに分かれて校内の音探しの旅に出る「音の探検隊」。おもしろい音やふしぎな音を探す、小さな冒険です。多くの児童が学校の音風景や自分を取り巻く世界に対して傾聴する姿勢を見せ、真剣に耳を傾けてくれました。



同じ風景の中にも「何が聞こえてきたのか」は、人それぞれです。なので、みんなに聞こえている音もあれば、2～3人にしか聞こえなかった音もありますし、私にしか聞こえない音もあります。これは音以外も含む、感性全般の話で「すべての人が同じものを同じように感じているわけではない」という、一人ひとりの受け取り方の違いを実感する時間となりました。

みんなの感想には「同じ場所にも人によって聞こえてくる音が違ってくるということに驚いた」「この学校で5年間もいたのに知らなかった音があった」「いま思うとこの授業をやる前と聞こえ方が違うし、いろんな音が入ってくるようになった」「静かなところで耳をすましていたら普段は聞いていない音や聞こえない音がたくさんあって音を探すのが楽しかった」「みんなは聞こえるのに自分には聞こえない音があって、1人ひとり感じ方が違うとわかった」などなど。

それでは次号にまたお会いしましょう！